

心 碩

可 行 認 會 風 岳 院 學 吟 詩 日 本 人 法 團 社
 神 奈 川 碩 心 會 發 行

3年10月現在會員数
 逗子地区 168名
 葉山地区 249名
 大船地区 48名
 (合計) (465)名

3年10月号(231号)
 発行者 岸 岳 萃
 編集者 村 愛 岳
 中 村 岳

◎ 11の予定行事

◇第41回逗子市文化祭 11月4日(日)10時より

詩吟詩舞発表会 逗子図書館ホール

◇第25回葉山町文化祭 11月10日(日)10時より

詩吟詩舞の会 葉山町福祉文化会館

11月17日(日)

◇県本部高段者 受付9時より

◇(七・八段)

審査課題講座

七段 開講9:30-12:15
 八段 開講13:16-16:10

◇県本部高段者

◇(皆伝以上)

審査課題講座

11月23日(祝) 受付9時より
 開講 9:30-16時

講習料千円・吟道手帳・審査課題テキスト

ト持参・弁当は自前

七・八段は参加者名

皆伝以上は欠席者名

10月28日迄に 教務部長に報告

◇県本部

納吟会・理事会 神奈川労働

11月30日(土)6:30より
 総合センター

奥伝合格(十月一日付)

おめでとうございます。

- 299 関沢光風 323 長島正風 326 加藤玲風
- 327 関沢倫風 328 鈴木賢風 330 榎玲風
- 331 北村雅風 336 荒井孝風 337 高橋松風
- 338 角田寿風 340 角田浪風 341 守谷信風
- 581 碓井祐風

第7回 神奈川県本部吟道大会終る

台風一過の9月29日日好天の下、海老名文
 化会館に於て右会が行われました。会館側の
 都合により開始時間がおくれるというハプニ
 ングがありましたが無事終了しました。碩心
 会からは左記参加がありました。遠路御苦労
 様でした。

- 独 吟・爾靈山 沼田昇風
- 合 吟・偶 成 清水耀岳他
- 独 吟・早に白帝城を発す 綾部秋岳
- 〃 山中問答 杉山雪岳
- 合 吟・九月十三夜 矢嶋悦岳他
- 〃 山中問答 村田潜岳他
- 〃 富士山 森田暁岳他

詩舞

九月十三夜

舞 中村愛岳 一之瀬汀岳
伊藤峰風 森谷千山
吟 木村松岳 鈴木禱岳

台吟コンクール
自 詠

曾村静子 矢島佳子
矢島時子 大坪克子
池田敏子 鈴木美佐子
押山照子 袴田政子

台吟コンクール
塞下の曲

三壁照子 森 はるみ
星野照子 村井知子
安田輝子 森 久美子
小金美智子 服部きく
米山茂子 駒場咲子

スライド吟詠

蜀 相

合吟・神州
役員・山行
吟詠

連 上村象岳
桑波田克風誠

中村幸岳他
千葉劔岳

右台吟コンクールに13組が参加、三壁チームが六位(次点)となりました。

三壁、曾村チームの皆様又指導の矢嶋、松井両先生御苦勞様でした。

碩心会55周年記念大会

(第二回) 準備委員会ひらかる

とき・9月24日午後6時30分より

ところ・桜山下会館

定刻根岸委員長より説明の後、各部門に分
れ、予算案の協議に入りました。各々データ
ーを持ち寄り、協議すること約二時間、各部の
予算案が計上され、解散となりました。

準備委員となつて思うこと

9月24日第二回目準備委員会がひらかれ、
熱心に話し合いが行なわれ、部員全体が熱気
に満ち、役員の方々の意気込みが感じら
れました。今回私も役員となつてみてはじ
めて、これは大変だと思ひました。大会の蔭に
於て、各自仕事を持ち忙しい方々が、何回か
会合を重ね、はじめて開催の運びになるとい
う事を、身を以て知りました。来年の大会に
向つて、頑張らなければと、心を引き締めた
次第です。

接待係・山口夕岳

新嫁娘

新嫁の娘

王建(中唐)

三日入厨下 三日厨下に入り
洗手作羹湯 手を洗いて羹湯を作る
未諳姑食性 未だ姑の食性を諳んぜず
先遣小姑嘗 先ず小姑をして嘗めしむ

嫁いで三日目、いよいよ台所に入り、いそ
いそと新妻のおつとめをはじめめる。手を洗い
きよめ、羹湯あつものづくりにとりかかる。まだお姑
さまの好みがわからないので、まず小姑に味
みをしてもらう。

新嫁娘……嫁にいったばかりの若妻。

三日……嫁いで三日目。

厨下……台所。

羹湯……どろりとしたスープのたぐい。

諳……知りつくす。

食性……食事の好み。

小姑……夫の妹。

嫁いできたばかりの若妻が、まだ家風もわ
からぬまま、不安な気持を抱きながら、か
いがいしく働きはじめた、いじらしい様子
をうたう。
(石川忠久・漢詩を読むより)

真木ふかき谷よりいずる山水の

常あたらしき生命いのちあらしめ

今井邦子

「真木」はすぐれた木の意で、松・杉・槇などの良材をいった。「山水の」は山水のように。緑なす山、その奥深い谷から湧き出る水のように、常に新しい息吹に満ちた生命をここに（私の身のうちに）湧き立たせて下さい、という祈りをこめた歌。大自然の純粹な生命と人間の卑小さを対比して前者を讃える歌はよくあり、陣腐にもなり易いが、この歌は調べが張っている（大岡信折々のうたより）

筑前琵琶

平家物語をきいて

山口夕岳

台風之余波で風強く、雨が降ったりやんだりの九月末のひと夜、筑前琵琶をきく機会に恵まれました。

簞運の弱い私は、何に応募しても当る事などなかったので、新聞をみて往復葉書で申しこんだ事さえ忘れていましたのに、入場券が送られて来て飛び上って喜びました。それは前から一度はききたかった上原まりの

「平家物語」でした。

場所は横浜教育文化ホール。会場は天候が悪いのに空席ひとつもなし。定刻になり静まり返った会場の人達の期待する目の前に、琵琶を下げた上原まりが椅子に着きました。まず琵琶について説明があり、やがて撥ぼの音と共に「祇園精舎の鐘の声」と吟じ出した声の素晴らしさに、息を呑みました。

残念な事に、今の教本には「平家物語」は取り上げられていませんが、私達の持っている古い教本にはあり、その音階のむずかしさに苦労した思い出があります。今ここに目を瞑って、じーっと耳をすませて聞く「平家物語」は、発声、余韻の引き方などが、実によく似ているのです。今更ながら、詩吟のルールを知った想いです。感心しましたのは、詞が実にはっきりしている事です。謡曲や長唄など知らない曲だったら、詞が半分しか解らず、本を見ていなければ面白さも半減するのですが、実によく解るので、発音の大事さを沁々と感じました。そして最後は壇の浦の合戦で琵琶は終わりました。アンコールに答えて再登場、自分でアレンジした曲という撥の音に堪能しながら会場を出ました。

千代女と

蜻蛉釣り

中村愛岳

蜻蛉釣り今日は何処まで行ったやら
破る子このなくて障子の寒さかな

前記は共に千代女の、亡き子をしのんで作った句とされているが、醜女説、美女説共に存在し、千代女身辺にはわからないことが多い。それはそれとして、蜻蛉の句は「朝顔につるべとられてもらひ水」と並んで、千代女の名を、だれ知らぬものにした。

千代女の蜻蛉釣りの句は、蜻蛉釣りに出た子が現実にはもう存在しない、心配もかけないし、行ったきりで帰らないのだということに、母の哀切感がある。この句をよむと私は、幼い子供を亡くした親の気持ちにジーンと伝わり、胸がしめつけられる。

ペンを持つ手を休め、ふと庭に目をやれば、赤蜻蛉が群とび、田園風景の多い中で遊んだ、幼い頃の思い出がよみがえってくる。そして蜻蛉は季節の使者でもあり、夏から秋に移る、時の流れを感じさせてくれる。

旧街道とんぼ群れとび昼静か 愛岳

年少者の指導

○前回、青少年に対する特別吟詠指導の必要性について触れたので、今回は少々詳しく言及してみたい。もっとも、年少者の人数には関係なく、単にその基本的指導要領を述べ、成人の吟詠教場の参考に資したいと思う。内容の一部は、元高校教諭小倉勇三著「漢文の授業」(三省堂)から使わせていただいた。

○漢詩の勉強は、むかしから「読むこと、書くこと、覚えること」であると言われている。第一の「読むこと」は、本会では「素読」と稱して吟詠前に二度ほど斉読しているが「読書百遍、義自ずからあらわる」と言われ、繰り返し繰り返し読むことである。意味はわからなくてよい。とにかく大きな声で読む。これが漢詩習得の第一歩とされている。本来は白文(返り点や送りがない原文)を対象としていたが、今は読み下し文のうえに振りがなががあるので楽である。第二の「書くこと」であるが、これは白文で書く。白文書写に賛成しない指導者もいるが、漢詩の場合白文がいい。現に碩心会でも、新しい絶句

などは次週までに白文で書けるまでに勉強して来る会員が何人かいるのを知っている。

○第三の、年少者に「詩文を覚えさせる」には、次の方法が自然でよろしい。

- 1、教室は年少者だけ。一時間以内で終了。
 - 2、年少者向きの漢詩を選ぶことが重要。
 - 3、教える量はなるべく少なく。絶句は一週一句を白文の読み・白文の書写・読み下し文の書写・符付、吟詠の順でゆっくりと
 - 4、絶句は四句構成なので一首を四か月で終了。従って年間三首完成を目標とする。
 - 5、各週を通し、漢字、漢詩の種類・構成、辞典の使い方等基礎事項を適宜加味する。
 - 6、教室では相互協力し、楽しく、かつ、毎週満足(成就)感をもって帰宅させる。
- 人がいちばん詩歌に感じ、記憶するのは小学校五、六年ごろから十五、六歳までであると某新聞の社説にあった。もちろん五十や六十の手習いもあるが、小学校高学年から高校生ごろまでに身につけた詩歌の精神は、いってみれば、文化や伝統を継承していくその人の生涯の基礎となり、ひいてはその人の生涯を支え、未来を左右する基盤になるものであるから、衷心青少年の育成に期待したい。

しだれ萩観音仰ぐ人優し
白壁に映えて水引活けられし
ふれて見し萩の白さよ風騒ぐ
椿の実弾く風有りインコ死す

(支部長変更)

一色A支部・秋吉生風に代り松崎艶風に

(入会)

- 630 大貫高泉(再) 横須賀市池上六一二一十六 (唐山)
- 631 新井幸子 横須賀市浦賀丘二二二一十三 (一色B)
- 632 小林英子 葉山町一色二一三二 (一色A)
- 633 沼田矢一 葉山町下山口一七二三 (下山口)
- (退会)
- 234 田中和風(一色A) 254 高橋彰風 (大船B)
- 358 斎藤俊子(葉月) 420 小林秀山 (逗子A)
- 428 田中節山(真澄) 501 中村亜希子(逗子A)
- 579 矢野花代(一色A) 592 大野恵山 (真澄)
- 612 会田京子(真澄)